


<おおぞら学級（知的）板書計画>

- 1 主題名 助け合って [B-7 親切, 思いやり]
- 2 資料名 「不思議なぼくの気持ち」 (文溪堂「4年生のどうとく」)
- 3 ねらい 困っている人のことを思いやり, 進んで親切にしようとする心情を養う。

親切

あいてのことを考え
てどうするか。



おもいにもつ
もっている人


にもつをもつ
あげる。

つまずいて
しまった人

おき上がるのを
てっだり。


目が不自
由な人

かたをかして
歩くのをてっだり。
おき上がるのを
てっだり。




本当に思ったとしても、
言わないほうがいい。

① おばあちゃんにわる口を
言ったことになるから。
② おばあちゃんは何も
わるくないから。



「重い。」って、言わなきゃ
よかったな。
→ 思ったのねた。

おばあちゃんがよろこんで
くれた。
おばあちゃんのやくに立った。



不思議なぼくの気持ち

ヤッキョンのおばあちゃん
足が不自由
→ はんを作ってくれる

歩くと
きこえてあげると
あげる。

おもいをもつ
てあげる。

「お手伝いをして
「ありがとう」
言われたら

そんなときのぼくは、うれしく
なうてどきはねたりしてしま